

平成13年度 文学部 授業計画表[syllabus]

地3選・社免歴免選

科目名 (英文名)	気候学 Climatology	4単位	(ふりがな) 担当者	の 野	ぐち 口	やす 泰	お 生
授業のねらいと概要: 我々の日常生活と密接な関わりを持つ気象・気候現象を取り上げ、その仕組みについて理解する。様々な空間的・時間的スケールの題材を用いて解説する。卒論のテーマとなりうるような問題をその都度指摘する。毎回、衛星画像と地上・高層天気図を用いて気象状況を解説する。下の表に各講義予定日に触れる教科書の章を示すので、事前に必ず読んでから出席すること。							
教科書と参考図書: 教科書:お天気の科学(森北出版)[=科学]、プリント:ほとんど毎授業で配布する[=プ] 参考書:新しい気象学入門(講談社ブルーバックス)[=気象]							
評価法: 前期・後期の期末試験(80%)及び課題(随時、20%)による。前期・後期共、7割以上の出席がなければ、受験資格は無い。再試は行わない。							

【授業計画】

回数	授 業 内 容 と そ れ に 必 要 な 準 備	回数	授 業 内 容 と そ れ に 必 要 な 準 備
第1回	ガイダンス、気候学と気象学、地理学の中の気候学、簡単な発達史 [科学1章]	第15回	多彩な気候環境:ハワイ島の気候区分 [科学2、11章、気象6章、プ]
第2回	日本の四季(春)(1) 二十四節季と自然季節、東シナ海低気圧と春の雪、融雪 [科学3、4章、プ]	第16回	日本の気候区分 [プ]
第3回	日本の四季(春)(2) 春一番と春の大火、移動性高気圧、大気の安定・不安定 [科学10章、気象3章、プ]	第17回	日本の気候(1):東北地方 [プ]
第4回	日本の四季(夏)(1) 梅雨と梅雨前線 [科学6、7章、プ]	第18回	日本の気候(2):関東甲信越 [プ]
第5回	日本の四季(夏)(2) 集中豪雨、ヤマセと飢饉 [科学6、7章、プ]	第19回	気圧と風、海陸風 [プ]
第6回	日本の四季(夏)(3) 南高北低型、夏日・真夏日・熱帯夜 [科学2章、プ]	第20回	高層天気図と地上天気図 [科学10章、気象2章、プ]
第7回	日本の四季(秋)(1) 台風 [科学3、11章、気象6章、プ]	第21回	偏西風と日本の気象 [科学2章、プ]
第8回	日本の四季(秋)(2) 秋雨前線、霜 [科学11章、プ]	第22回	大気大循環 [プ]
第9回	日本の四季(冬) 西高東低型、寒波と日本海、冬日・真冬日 [科学5、10章、プ]	第23回	エルニーニョと南方振動指数 [プ]
第10回	気象観測資料 気象庁の役割と気象官署、アメダス、大気汚染観測網、気象衛星、気象庁関係資料 [プ]	第24回	気候変化(1):地質時代から歴史時代 [プ]
第11回	気候の表現と区分(1) 気候指数の歴史 [プ]	第25回	気候変化(2):観測時代 [プ]
第12回	気候の表現と区分(2) ケッペンとソーンスウエイト [プ]	第26回	気候変化(3):戦後の気候変動 [プ]
第13回	夏休み明けの初日(前期試験の答案返却と解説) [プ]	第27回	Inadvertent Climatic Modification (1) Heat Island Effect [プ]
第14回	極値と平年値、気象災害 [科学6、9章、気象6章、プ]	第28回	Inadvertent Climatic Modification (2) [プ]